

## 茶の湯 (Web テキスト)

茶の湯は、抹茶（粉末の緑茶）の準備と提供を中心とした日本の伝統です。しばしば、「茶会」とも訳されます。そのお茶を淹れて提供する過程は、お客様と主催者の両方にとって楽しい体験を作り出せるよう設計された形式化された流れに従います。

### 続きを読む

お茶を飲む文化は、中国から最初にお茶がもたらされた後、何世紀にもわたって発展しました。抹茶は主に健康のため 12 世紀に日本に導入されましたが、楽しみのために抹茶を飲むことは上流階級の娯楽になりました。茶の湯を通して自己を磨くための規律である「茶の道」（茶道または茶道）は、15 世紀と 16 世紀に形成されました。千利休（1522 年～1591 年）は、わびの美学（培われたシンプルさ）と、調和、敬意、純粹さ、静けさの原則を取り入れた、今日私たちが知っている「茶道」を確立した茶道家と見なされています。現在、「茶の道」にはさまざまな流派があり、世界中に何十万人もの茶道家がいます。この公演では、裏千家というお茶の流派の茶道家によって抹茶が用意されます。